

産科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 前置・癒着胎盤における子宮底部横切開法の有用性に関する検討

[研究機関] 北海道大学病院産科

[研究責任者] 西田 竜太郎（産科・助教）

[研究の目的]

前置胎盤・癒着胎盤は帝王切開時に多量出血が予想され、場合によっては母体の生命を危機にさらすこともある重大な疾患です。その出血量コントロールの為に子宮底部横切開法（以下：新術式）が考案されました。この方法は、子宮の上の部分の横に切開し、赤ちゃんの娩出後に胎盤剥離を行うか、癒着胎盤が予想される場合に胎盤剥離を行わず子宮摘出に移行できる方法です。我々はこの研究において、当科で帝王切開を行った前置胎盤・癒着胎盤について、新術式の効果を検討する事を目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2003年6月から2011年3月までの間に北海道大学病院産科に通院または入院した前置胎盤ならびに癒着胎盤を有した方。

●利用するカルテ情報

診断名、身体所見、検査結果（血液・尿検査所見、超音波断層法、MRI、胎児情報など）。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目
北海道大学病院産科 担当医師 西田 竜太郎
電話 011-706-5941 FAX 011-706-7711